

基本目標1. 確かな学力の育成に向けたICTを活用した効果的な指導の充実		年間スケジュール											
(1) New草津型アクティブ・ラーニングの推進		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
周知・啓発、実践事例の収集、授業実践事例集および実践動画集の作成、全校への共有	New草津型アクティブ・ラーニングについて、教育委員会主催の研修会や学習eポータルに掲載した実践事例集で周知・啓発を行い、全ての教員がその趣旨を理解し、1人1台端末を効果的に活用する授業を実践できるようにします。	市教委主催の研修会での周知・啓発①	市教委主催の研修会での周知・啓発②		市教委主催の研修会での周知・啓発③				市教委主催の研修会での周知・啓発④			市教委主催の研修会での周知・啓発⑤	実践事例集の作成、周知
校内研究授業や教科等部会別研究会でのICT活用促進	校内研究授業や教科等部会別研究会の研究授業でのICT活用を促し、各教科等の特性を生かしたICTの効果的な活用方法を研究します。	研究授業でのICT活用の促進呼びかけ①			研究授業でのICT活用の促進呼びかけ②								
第1期研究指定（小学校1、中学校1）研究結果の公表と普及	研究校を指定し（小学校1校、中学校1校）、New草津型アクティブ・ラーニングの推進について研究を行い、研究発表大会及び研究結果の公表を行って効果を市内全校へ普及させます。								研究発表大会			研究結果の公表	
学習者用デジタル教科書の調査・研究	文部科学省の事業で提供される英語等の学習者用デジタル教科書について、効果的な活用方法を調査・研究し、国の動向を注視しながら学習活動での利活用を推進します。	デジタル教科書のアカウント登録作業（各学校）		年度初研修会の実施								年度末研修会の実施	事業成果の周知
(2) 計画的なICT環境整備とICTを活用した学びの推進		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ソフトウェアの検討・整備	プロポーザルにより選定した協働学習ソフト・デジタルドリルソフトおよび学習eポータルの利活用に係る調査・研究を行います。												
電子黒板の更新整備の検討	電子黒板については、整備から5年以上が経過し老朽化が見込まれることから、計画的な更新整備を検討します。その際、特別教室への配備も含めて検討を進めます。	学校間移動（必要な場合）	整備計画の検討		重点施策マネジメントでの協議（要求する場合）					予算要求（必要な場合）			
1人1台端末の更新にかかる国の動向等の情報収集	令和7年度に一般的な耐用年数である5年目を迎えるため、国の動向等を注視しつつ、令和7年度で機器更新を行います。							機器更新についての検討		機器更新			
市教委主催の研修会の実施、学校訪問および各校研修会での周知	学習者用ツールやICTの有効活用方法について、市教委主催で定期的に研修会を実施します。また、学校訪問や各校で実施される研修会でも情報を周知します。	市教委主催の研修会での周知①			市教委主催の研修会での周知②				市教委主催の研修会での周知・啓発③				
(3) 特別な支援や配慮を要する児童生徒に対するICTを活用した学びの保障		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
アプリ活用促進のための体制確立	個々の児童生徒の習熟度・理解度に合わせて活用することができるアプリや教材について、1人1台端末にインストールできる体制を確立し、年間を通じて活用促進できるように体制を継続します。	体制確認											
特別支援学級への学習者用デジタル教科書の導入に向けた検討	習熟度・理解度に合わせて活用することができる教材として、特別支援学級全児童生徒に学習者用デジタル教科書の導入検討を進めます。		導入検討		重点施策マネジメントでの協議（要求する場合）					予算要求（必要な場合）			
オフライン・アプリおよびオンライン教材についての研究	多様な学習機会を確保するために、オフライン状態で活用できるアプリや、自宅の端末からでもアクセスできるオンライン教材について研究します。また、アプリおよび教材の一覧を作成し、各校へ共有するとともに、市教委主催の研修会や学校訪問で各校に周知します。	市教委主催の研修会での周知		アプリおよび一覧の作成									
学校へ登校しづらい児童生徒への「学びの保障」	学校へ登校しづらい児童生徒への、アプリや教材の活用、テレビ会議システムを活用した授業の配信や学習支援等を進め、学びを保障します。												

基本目標1. 確かな学力の育成に向けたICTを活用した効果的な指導の充実		年間スケジュール											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(4) ICTを活用した家庭学習の充実													
・ 毎月1回以上の端末持ち帰りによるICTを活用した家庭学習の実施	週1回以上および長期休業中に端末を自宅へ持ち帰る機会を設け、ICTを活用した家庭学習を実施します。	●											→
・ オフラインで使用できるツールの研究および家庭での学習モデルの作成および更新、教職員や家庭への周知	自宅のインターネット環境によらず、ICTを活用した家庭学習を行えるように、オフラインで使用できるツールの効果的な活用方法を研究し、家庭での学習モデルを作成して教職員や家庭へ周知します。	●		→			●						→
(5) 効果的で工夫あるプログラミング教育の推進		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・ より効果的なプログラミング学習の研究と実践	「草津モデル」をもとに小学校1年生から中学校3年生まで、発達段階に応じたプログラミング学習を実施します。 「草津モデル」を基により効果的なプログラミング学習について研究し、プログラミング学習を効果的に実践できるようにします。	●											→
(6) 遠隔授業による学びの充実		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・ 草津市の実践、国や先進自治体の事例の整理・収集と各校への周知	「英語少人数コミュニケーション活動」を実施するとともに、これまでの草津市の実践、国や先進自治体の事例を整理・収集して各校へ周知し、学びの充実を図ります。	●											→
・ 遠隔授業が可能な施設や団体についての情報収集とリスト化	遠隔授業が可能な施設や団体について情報収集を行い、学校のニーズに応えられるようにリストを作成します。	●											→
(7) 非常時における学びの保障		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・ モバイルルータを貸与する事業の実施	インターネットを活用した家庭学習ができるよう、必要に応じてインターネット環境がない家庭等にモバイルルータを貸与します。	●											→
・ 優良事例の収集及び研修会の実施	非常時のオンライン授業の質的向上を図るために、優良事例を収集して実践動画や実践事例にまとめ、全校へ共有します。また、市教委主催の研修会で、年1回以上オンライン授業についての研修を行います。	●											→
・ 業者との連携、通信状況の安定化および端末やネットワークの設定の適正化	保守業者やネットワーク整備業者と連携し、通信状況の安定化および端末やネットワークの設定の適正化を図ります。	●											→

■到達目標		R2	R3	R4	R5	R6	R7
学習の中でICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う児童生徒 (全国学力・学習状況調査より)	目標値			95	95%	95%	95%以上
	実績値		小95.0% 中94.0%	小95.9% 中91.4%	小95.6% 中92.7%	令和6年度 項目削除	
電子黒板やタブレットを使った授業はわかりやすいと思う児童生徒 (児童生徒アンケートより)	目標値			93%	94%	95%	95%以上
	実績値	92.3%	91.5%	91.4%	91.9%	91.4%	

基本目標2. 多様で変化の激しい社会を生き抜くための情報活用能力の育成と情報モラル教育の推進		年間スケジュール											
(1) 情報活用能力の育成		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・ 情報活用能力系統表の見直し	「小学校・中学校において身に付けさせたい情報活用能力系統表」について新学習指導要領に合わせた見直しを行います。	●	(随時) 国や先進自治体、他機関の情報収集、整理										→
・ 好事例の収集・共有	教科ごとの特質に応じた指導内容の事例等を収集します。		● 市教委主催の研修会での周知	(随時) 効果的な活用方法の調査・研究、実践事例の収集・整理									→ 実践事例の周知
(2) 情報モラルに関する指導の充実		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・ 実施計画の集約、優良事例の収集・周知	各校から情報モラルに関する学習活動の実施計画を集約します。	● 年度初研修会の実施		(随時) 効果的な活用方法の調査・研究、実践事例の収集・整理		市教委主催の研修会での周知							→ 実践事例の周知
・ 保護者向け啓発の実施	情報モラルや機器の使用にかかるルール等の啓発文書を作成し配信することで、ルールを家庭とも共有します。	●	啓発文書の作成			活用について学校への				啓発文書の家庭への周知			→

■到達目標		R2	R3	R4	R5	R6	R7
様々なメディアから必要な情報を選び出し自分の考えを効果的にまとめることができる児童 (小学6年生) (児童生徒アンケートより)	目標値	/	/	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上
	実績値	/	未測定	91.0%	84.0%	86.1%	
TPOに合わせ、メディアを効果的に活用、表現することができる生徒(中学3年生) (児童生徒アンケートより)	目標値	/	/	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上
	実績値	/	未測定	90.5%	74.5%	77.4%	
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている児童生徒 (全国学力・学習状況調査より)	目標値	/	/	71%以上	72%以上	/	/
	実績値	/	小70.2% 中66.3%	小73.7% 中67.5%	令和5年度 項目削除	/	/

基本目標3. 教員のICTを活用した指導力を高めるための研修および支援体制の充実		年間スケジュール											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 教育情報化リーダーの育成													
・ 研修の実施（年6回程度）	ICT活用、デジタルシティズンシップの育成、生成AI等に関する校内研究をマネジメントするリーダーを育成するための研修会を年6回程度、実施します。	第1回研修会の実施	第2回研修会の実施			第3回研修会の実施			第4回研修会の実施		第5回研修会の実施	第6回研修会の実施	
・ リーダーによる校内研修会の実施（年3回程度）	教員一人一人のICT活用能力向上のために、自校の強みを伸ばし課題を克服する研修を年3回程度、実施します。	●-----> 第1回研修会の実施			●-----> 第2回研修会の実施			●-----> 第3回研修会の実施					
(2) 教員間におけるICT活用格差の解消													
・ ステージ別ICT実技研修の実施（年3回程度）	希望する教員及びICT活用指導力に不安がある教員を対象に、一人一人の更なるICT活用指導力向上を図るため、それぞれのステージに応じたICT実技研修を年3回程度、実施します。		第1回初級者向け研修会 第1回中級者向け研修会			第2回初級者向け研修会 第2回中級者向け研修会			第3回初級者向け研修会 第3回中級者向け研修会				
・ 市外からの転任者向け研修会の実施（年2回程度）	市外からの転任者を対象に、草津市のICT教育（ハード、ソフト）の理解を深めるための概要説明と、1人1台端末を効果的に活用した授業を展開するための実技研修を実施します。	●-----> 研修会の実施			●-----> 研修会の実施								
・ オンライン相談の実施（随時）	教員のICT活用指導力の底上げを図るため、希望に応じて随時時間い合わせを受け付けるオンライン相談会を実施します。	●-----> 市教委主催の研修会での周知		(随時) オンライン相談会の実施、相談内容の取りまとめ、周知（必要に応じて）									
・ グループウェアの活用（随時）	グループウェアの機能を活用し、教員間の学び合いを促進することにより指導力の向上を図ります。	●-----> 市教委主催の研修会での周知 市教委による、教員のポータルサイトへの登録		(随時) 活用方法の紹介及び実践事例の収集、周知									
(3) ICT支援員とヘルプデスクの設置													
・ ICT支援員の訪問支援（1校あたり月2回程度）	各学校の教員の実状やICT活用状況等を勘案しつつ、具体的な指導事例の提案や研修支援を進めます。また、学校のニーズに合わせた支援員の弾力的な配置を行います。	●-----> (随時) ICT支援によるサポート（授業支援、技術支援、研修支援）			●-----> 配置見直し①			●-----> 配置見直し②					
・ ヘルプデスクの運用、ICTサポートセンターの設置	教員のICTの利活用促進のため、各種ソフトや端末の操作方法等の相談や機器のトラブル対応を行い現場の教員の負担を軽減します。	●-----> 市教委主催の研修会での周知	●-----> 月1度 業務委託先との定例会の実施		●-----> 月1度 業務委託先との定例会の実施		●-----> (随時) ヘルプデスクによるサポート（各種ソフト及び端末操作相談、機器のトラブル対応）						
											●-----> (随時) ICTに関するサポート（アカウント及び端末管理、各種ソフト及び端末操作相談、機器のトラブル対応）		

基本目標3. 教員のICTを活用した指導力を高めるための研修および支援体制の充実		年間スケジュール											
(4) ICTスーパーバイザー、スキルアップアドバイザーに資する指導力の向上		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・ ICTスキルアップスーパーバイザー、スキルアップアドバイザーの訪問指導	ICTスキルアップスーパーバイザーが各校を訪問し、「New草津型アクティブ・ラーニング」の内容に沿った指導・助言を行い、教師の個別最適な学びのまとめ役としての能力の向上を図ります。スキルアップアドバイザーは、教員のICT活用指導力向上を図るため、ICTを活用した授業の指導助言や授業支援、技術支援を行います。	担当者の学校訪問による周知及び年間計画の作成	(随時) 学校訪問による指導・助言 (ICT活用の相談、プログラミング学習の相談)										
・ 優良事例の収集と周知	教師の個別最適な学びのまとめ役としての能力の向上を図るために、優良事例を収集して実践動画や指導案等を実践事例集にまとめ、全職員で共有します。	収集計画及び周知方法の検討	(随時) 優良事例の収集、実践動画の作成							実践事例集・動画集の作成	市教委主催の研修会で報告	ポータルサイトへの実践事例集・動画集の掲載	

■到達目標		R2	R3	R4	R5	R6	R7
授業にICTを活用して指導する能力について肯定的に回答する教員 (文部科学省 調査より)	目標値			90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
	実績値	80.6%	90.5%	82.8%	86.1%	83.7%	

基本目標4. 校務のデジタル化を通じた教育の情報化と情報セキュリティマネジメントの推進		年間スケジュール											
(1) 学校・保護者・地域との連携手段のデジタル化の推進		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・ 連絡手段のデジタル化の調査・研究、情報共有システム（アプリ）の導入	各校のアンケート調査のデジタル化や、学校通信等のペーパーレス化を進めます。	● 初期設定と利用者の登録 ● 情報共有アプリの活用方法の周知	➤				(随時) 活用事例の調査・研究・周知						➤
・ グループウェアを活用したデジタル化の推進	現在使用しているTeamsを活用して、校務での活用や情報共有サイトによるデータの利活用を推進します。	● 校長会等でICT活用の促進呼びかけ	(随時) Teamsによる掲示板および学習教材等の情報共有サイトの運用										➤
・ 学校ホームページへのCMS導入	学校ホームページにCMS（コンテンツ管理システム）を導入することで、ホームページ作成事務を省力化し、掲載数の増加やコンテンツの更なる充実を図ります。	● 市教委主催の研修会での周知①					(随時) 活用事例の調査・研究						➤
(2) 校務のデジタル化の推進		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・ 校務支援システム、自動採点ソフト等のAIを活用したソフトウェアの調査・研究	自動採点ソフト等のAIを活用したソフトウェアについて、本課や中学校での調査・研究を進めます。		● 運用準備（教員への研修会等の実施）			➤ ●	実証校による調査・研究、AIに関する実践事例の収集						➤
・ Web研修会・会議の実施	会議・研修会毎の議題や特性を鑑み、可能なものからオンライン会議システムを利用したオンライン化の支援を行います。	● 校長会等でICT活用の促進呼びかけ	(随時) テレビ会議システムを活用した会議・研修会の実施および支援										➤
・ ペーパーレス化の推進	会議資料や教育委員会発出の学校あて文書やFAXについて、可能なものからグループウェアを活用したデータの配布・回収を進め、ペーパーレス化を推進します。	● 校長会等でICT活用の促進呼びかけ	(随時) Teamsによる掲示板およびファイル共有機能の活用、FAXに代わるチャット機能の運用										➤
(3) 情報セキュリティマネジメントの推進		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・ 学校情報セキュリティに関するガイドラインの見直し（随時）	教育情報セキュリティポリシーガイドライン（文部科学省）に則り、教育現場の実態や他機関の動向、技術的な進展等を踏まえた学校教育セキュリティガイドラインの見直しを随時行います。					● (随時) 国や先進自治体、他機関の情報収集、整理 ● ポリシー作成準備							➤
・ 研修の実施	教職員の情報セキュリティに関する意識の醸成を目的とした研修機会を実施することで、児童生徒、教員が安全安心にICTを利用するための情報セキュリティ対策を推進します。											● 研修会の実施	

、FAXI

■到達目標		R2	R3	R4	R5	R6	R7
学校との連絡手段等のデジタル化・ペーパーレス化が進み、利便性が向上したと思う保護者（保護者アンケートより）	目標値	／	／	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上
	実績値	／	未測定	80.8%	93.1%	95.2%	
校務のデジタル化が進み、業務負担が軽減されたと思う教職員（教職員アンケートより）	目標値	／	／	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上
	実績値	／	未測定	68.0%	68.0%	70.2%	
情報セキュリティ事故の発生件数	目標値	／	／	0件	0件	0件	0件
	実績値	0件	0件	1件	0件	0件	

令和8年度以降の方針

・『草津市学校教育情報化推進計画第二期計画』の当初計画期間（令和4年度から令和7年度までの4年間）の終了にあたり、本来であれば第3期計画の策定が必要となります。
 しかしながら、国の『学校教育情報化推進計画』の計画期間が令和4年12月から5年間、策定から3年後を目途に見直しとされており、現時点で未更新であることを踏まえ、第3期計画策定は見合わせることにし、現行計画内容を維持しつつ、まだ発展途上で変化の激しい教育DXに柔軟に対応できるよう、**令和9年度まで、計画期間の見直しを行う方針で進めます。**
 また、GIGA スクール構想の進展および草津市の現状を反映し、成果指標の一部見直しを行います。（成果指標の見直し内容は資料3）

〈上位計画の計画期間〉

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
第6次草津市総合計画基本計画	← 第1期 →			← 第2期 →			← 第3期 →					
草津市教育振興基本計画	← 第3期 →			← 第4期 →								
G I G Aスクール構想	← 第1期 →		← 第2期 →									
(国)学校教育情報化推進計画		← 第1期 →			← 見直し →							
滋賀県学校教育情報化推進計画		← 第1期 →		← 第2期 →								
草津市学校教育情報化推進計画	← 延伸 →	← 第2期 →			← 見直し →							